

**平成21年度 科学研究費補助金（特別推進研究）**  
**研究進捗評価 現地調査報告書**

研究課題名	コンデンシンによる染色体構築の分子メカニズム	研究代表者名 (所属・職)	平野 達也 (独立行政法人理化学研究所・主任研究員)
-------	------------------------	------------------	-------------------------------

評価コメント (研究代表者へ開示)
<p>研究代表者は、細胞分裂期における染色体凝集・分離に必須なコンデンシン複合体とコヒーシン複合体の発見者の1人で、分野の先頭に位置する研究者である。</p> <p>本研究課題では、(目標1) コンデンシンの分布を規定する染色体因子の同定、(目標2) コンデンシンの細胞周期制御の解析、(目標3) コンデンシンの分子活性・分子構造の解析の3つを目標に研究を進めている。</p> <p>これらの目標については、a) コンデンシン複合体の分子構造・活性(目標3)、b) コンデンシン複合体と相互作用するタンパク質とその機能(目標1)、c) コンデンシン複合体構成遺伝子産物の生物学的機能(目標2)というように、分子から生物学的機能へ明確な階層をなして、本研究課題の重要性もこの順である。すなわち、a) を突破することが染色体生物学における最大の成果になるとの明確な認識と、突破しようとする意思を研究代表者は持っている。実際の突破には幾多の困難が予想されるものの、このような認識は特別推進研究を進める上で、きわめて重要である。</p> <p>現地調査からは、準備段階はすでに過ぎ、データ産生段階に入っているという印象を得ている。予備的な成果も出ており、新しい方法論も一部取り入れ、意欲的に研究を進めている。目標の広さに対し、理化学研究所のグループ規模は比較的小さいが、共同研究をうまく行うことで規模を補うこともできているように見受けられた。</p> <p>以上から、本研究課題は順調に進捗しており、計画に従って研究を進めるのが適当である。また今後の成果も期待できる。</p>